



▲田屋城口ノ丸からの眺望 海津・琵琶湖・竹生島が一望できる



▲田屋氏の居館跡とされる長法寺



▲田屋氏・浅井氏ゆかりの宗正寺

海津衆 田屋氏と 江北 浅井氏

戦国時代に高島郡で活躍した海津衆（饗庭・田屋・新保）の中で、田屋氏は、江北 浅井氏と縁戚関係で強く結ばれていました。浅井亮政は、田屋氏の子とされ

る明政を養子にし、娘（鶴千代／海津殿）の婿にむかえました。以後、田屋氏は、浅井氏の高島郡進出に大きな役割を果たします。この田屋氏の館の跡とされるの

が、マキノ町沢にある長法寺で、背後にあたる森西集落の「城山」と呼ばれる標高約320mの丘の上には、田屋城跡があります。ここからは、北陸道と知内川に沿って若狭にいたる街道を見下ろすことができるとともに、海津や琵琶湖を一望できます。

この田屋城からは、浅井・朝倉氏の城に共通する築城技術が、駆使されていることをうかがい知ることができます。

斜面に掘られた多数の竖堀群や畝状空堀群、主郭（山城の中心地）背後の県内最大級の規模がある堀切などの遺構から、織田信長の北陸進出を食い止める戦略的拠点として、浅井・朝倉氏により、大きな改造が加えられたとされています。

また、羽柴秀吉と柴田勝家の賤ヶ岳合戦の際には、秀吉方の丹羽長秀が海津の防備を固めていて、その時に改修されたことも指摘されています。

さて、浅井明政の子について、長女（海津局）は、茶々（淀殿）の侍女となり、大坂落城の時に、千姫とともに逃れ、のちに浅井長政の三女（江（崇源院／達子）と千姫に侍女として仕えました。二女である饗庭局もまた、淀殿の

乳母および侍女となり、淀殿の名代としても活躍します。

慶長5年（1600年）の関ヶ原の戦いの際には、長政の二女初（常高院）のいる大津城の開城につかわされました。また、慶長19年（1614年）、方広寺の鐘銘の弁明にも、駿府の徳川家康のもとにもむいています。

そして、大坂冬の陣の講和の時には、家康のもとに、常高院とともに使者に立ちましたが、元和元年（1615年）の大坂城落城の際に、淀君・秀頼とともに自刃しました。マキノ・海津の宗正寺には、海津政元（浅井明政か？）夫妻や、饗庭局の位牌などが伝えられていて、浅井氏や田屋氏の関わりが深い寺として知られています。（文化財課）

編集者のつぶやき

秋といえば、スポーツの秋。ということで、表紙にはマキノで行われた「2010びわ湖高島マラソン」のスタートの様子をパシャリ。メタセコイヤの美しい並木道を、たくさんの選手が一斉に駆け出す瞬間は迫力満点。完走後は皆さん爽やかな笑顔に。スポーツ以外にも、秋には、文化祭や産業フェア、市民劇など催し物もたくさんありますので、ぜひ満喫してみてください。（広報担当S）

発行／高島市 編集／政策部企画広報課
〒900-0001 滋賀県高島市新旭町北畑ののき

0740(24)8000(代)
http://www.city.takashima.shiga.jp
info@city.takashima.shiga.jp

拡大版・未来への種
タウン・トビックス
みんなの5775
子育て
子育て・市長の手帳
消費生活・省エネ
安心安全
暮らしの情報
教育委員会
健康生活
元気生活
国保年金
びょういん
だより
図書館
窓口だより
歴史散歩